

龍頭三體類語

作文錦囊

紙數四百五十ページ ● 正價卅五錢

● 郵税八錢

所謂三體とい支那文體と本邦雅俗の兩體を云ふものにして此三體の相待て方今行へるゝ所の書簡體を組成する經緯とあす編者其初學の爲め類例の少なきを思ひ且諸書を類閱するの煩を省かしめんが爲に三體對照文例を求め得るの便方を設く題して錦囊と云ふ敢て誇張の言にあらざるあり

岩本吾一君著

訂正増補

通俗男女造化機論

惣黒ス金字入正價三十錢 ● 郵税六錢
同 並 製正價二十錢 ● 郵税四錢

宋 廣信 臺山謝枋得批選
明 晉江 九我李廷機評訓
日本 仙臺 篁洲若林彪纂註
日本 磐城 馬陵井土經重校

續正文章軌範評林

實價三十五錢 ● 郵税十二錢

淚香小史譯
探偵小説

指環

大形●實價廿五錢●郵稅六錢
赫々として美人の軟手は輝ける者の指環あり本書は此指環を以て思むべき怖るべき奇賊の規約を結び世人の耳目を暗ませし犯罪の始末を淚香子が譯述せられし佛蘭西小説あり
淚香小史譯
銀行奇談

大盜賊

中本●實價十二錢●郵稅四錢
此書は佛國巴里の金満家と崇められたるホールフル銀行にて三十五萬圓の大金を盗み取られし大盜賊の事實談あり

丸亭素人淚香小史兩大家合譯

美人の獄

大形●實價廿五錢●郵稅六錢
本書は尤も憐むべき美人が恐るべき大犯罪に關連して牢獄に呻吟する有様あり犯罪の顛末に至るまで面白く譯述せられし探偵談あり

丸亭素人譯

探偵譚

中本●實價二十錢●郵稅六錢
當時歐米よて尤も流行ある探偵小説を集めたる者よして讀者を五里霧中に彷徨せしむる不可思議ある小説あり

丸亭素人譯
探偵小説

涙美人

大形●實價廿五錢●郵稅六錢
原書の米國最近出版に係る者あり本書
始て紐育の市上は顯れしは忽ち稱贊を
得上下一般の交際社會の談柄とあり此
書を一讀せざる者の共々文學を語る可
からざる者ありとの謗を受るに至り數
十萬部を賣盡したる有名なる小説あり

丸亭素人譯
探偵小説

鬼車

大形●實價廿五錢●郵稅八錢

本書の佛國に於て非常の喝采を博せし
書にして探偵の至妙あると罪人の狡猾
あると互に伎倆を戦はず尤も面白き小
説あり

丸亭素人譯
探偵小説

暗殺

大形●實價三十錢●郵稅六錢
一喜一憂憐むべきあり怨むべきあり佛
國有名ある革命より變じ來りて暗殺の
編成る至妙ある探偵不思議ある事實の
紙外に溢る

丸亭素人譯
探偵小説

黒闇鬼

大形●實價三十錢●郵税八錢
本編ハ佛國大小説家の健筆に成れる一
種の探偵談あり人を横殺して金庫を破
りしハ強賊あり大罪人あり良人を欺い
て危地ニ陥れ巧みに罪状を掩蔽せし
も微を探り陰を撥くの術ニ長ぜる探偵
吏が百難千苦の末終に大悪人を捉え得
て天誅を加ふる迄丸亭が健筆ニ譯述せ
られし良書あり

丸亭素人序
探偵小説

青面嬢

大形●實價廿五錢●郵税六錢

青面嬢どの何者を獨逸の首府伯林ニ於
て尤も奇怪の談柄として囂すしかりし
探偵譚にして絶多の讀者を惱殺せし珍
書あり青面嬢の舉動と其何者たる者を
探らんとする者の速に本篇を讀んで其
妙味を知れ

丸亭素人序 菊亭笑庸譯
探偵小説

耳と腕

大形●實價廿二錢●郵税四錢
本篇の面白きか面白からざるかの讀者
試に一考せよ獨逸伯林公園に切り落さ
れたる一個の耳の抑も本篇の起點にし
て此事實を分解せんとして一本の腕を
失ふいたる探偵吏ありと云ハハ困難お
る探偵譚にして讀者本篇を繙かバ思將
よ中に過ぎん

丸亭素人序
無名居士著
探偵小説

泥中の死體

大形●實價二十錢●郵税四錢
死體を泥中に埋めたりと云ひ左とし
て不思議の死體ありと云ひ由り敷犯罪
されたる死體ありと云ひ由り敷犯罪
事件あり讀者よ此死體が如何なる事實
に依りて殺害されたか不可思議なる奇談
に此事實を探るに隨て湧出す請ふ愛讀
を垂れよ

不知火譯
探偵小説

車輪の跡

大形●實價三拾錢●郵税八錢

探偵文庫

毎月一回發行●定價金二十五錢●郵税八錢
一冊讀切●紙數三百ページ前後

第一編

●死人の掌

米國紐育府近村に於ける殺人犯にして
日の出探偵目玉の雷瀧が死人の掌に殘
れる手巾の片破を證據物件として目覺
ましき働きを現はす面白き小説あり

第二編

●其囚人

本篇は佛蘭西種の贖金使にして錯綜乱
麻の事實を分解して讀者を樂しましむ
る者ハ歐洲焦土に比類なき探偵の名人
和田傳三にして幽靈と緯名せる探偵吏
と其伎倆を較ぶる有名なる探偵譚あり

第二編

●多湖廉平

多湖廉平といふ前も譯出せる大疑獄中も
知名の探偵あり今其名を採つて本篇に
題したる者此の人篇中に鬼神の働き
を爲し微を捉らへ幽を採つて讀者も汗
を握らずればあり篇中米合衆國の非役
元老院議員あり議官の令嬢にして妙齡
ある佳人ありて佛京巴里も凄慘逆毛の
犯罪事件を顯す尤も有名なる探偵談也

朝鮮朴泳孝題字
日本桃水痴史著

胡砂吹く風

大形前編後編共一冊●實價卅五錢
郵税八錢

古來小説家未だ筆を下さざる朝鮮の事
情を醜案したる珍書あり筆を對邊貿易
よ起し日和交渉の關係を細記し朝鮮を
して文明の域よ進みたる未來まで書き
綴りたる空前絶後の立案小説あり

桃水痴史著

下閻

大形●實價三十錢●郵税六錢

當時文壇上に左る者ありと知られたる
桃水痴史が著にして篇中何れも花やら
ざるいあく情を穿ち實を現し虚實相
伴ふて卷を掩ふ能ざらしむ趣考の新
機軸あると文章の奇拔あるハ弊堂が贊
言を待たずして讀者既に知らん

須藤南翠著

去佐日記千度磐

大形●實價廿五錢●郵税四錢
本書ハ維新前後の歴史談として土佐家に係る事實を翻案して小説とせし者あるが故に武談あり情談あり其面白き事尋常一様のは家騒動の比にあらず知らず讀者を涼然たらしむ

須藤南翠著

薰衣香

大形●實價三十錢●郵税六錢
本篇ハ都下幾万の人士が首を延して其發刊を待つ處の南翠先生の著作あり麗ある文章ハ蜜の如く甘く雅致ある趣考の愈出て愈奇あり一冊を購いて其妙味を知れ

須藤南翠著

試金石

大形●實價三十錢●郵税六錢
本書南翠外史が巧妙ある趣考と艶麗ある筆鋒を専らにしたる立志美談として一讀壯者の心氣を勃然たらしむる尤も必讀すべき小説なり

三遊亭圓朝原作
久保田彦作脚色
演劇脚本

怪談乳房榎

大形●定價三十錢●郵税六錢
此書ハ圓朝子演述の小説中尤世評高かりし久保田氏が脚色せし者あれバ一入花魁色増す如く悲壯慘愴哀むべく怨む可く之を繙かバ卷を掩ふ能はず

桃水痴史著

かたみかはり

實價廿五錢 ● 郵税四錢

三遊亭圓朝一世の名作

酒 井昇造筆記

安 中 草 三

後開榛名梅香

中本 ● 實價卅五錢 ● 郵税六錢

圓朝氏口述ニ係る著書一度發售せし以來翁の名世に發揚し爾來活版に付する者實に數十種に至る然れども就中尤も

有名あるハ此榛名の梅香の右に出る者
あり實に圓朝氏第一の著書あり卷中大
意を云へバ義俠安中草三郎ある者親の
爲に賊を爲し一度悔悟し再び主難を救
ふんと欲し大賊とある其間幾多變遷或
ハ險を犯し危人を助け或ハ白刃を踏で
不幸を救ふ等義俠の赤心痛むべく悲し
むべきあり翁が尤も得意の書冊也

松林伯圓 講述

今村治郎 速記

河内山

大形 ● 實價廿五錢 ● 郵税六錢

本篇ハ幕末の頃ニ在りて大欺偽を逞ふ
したる河内山宗俊の實傳として松林伯
圓專賣特許世話講談也

香夢樓主人編纂
耐忍偉業

商人立志編

十製郵税共三十五錢●並製郵税共二十五錢

吾帝國の偉商として其名を万里の異境にまで轟かしたる近時有名ある豪商廿有餘名の實歴を列叙したる者あれば後進諸君本篇を繙かば商業上重大なる經見を増し富饒を掌よする敢て難きにあらず信よ商家六韜三畧あり

懷中義太夫

繪入

倭文範

繪入

自第一編至第八編小木一冊ニ付郵税共六錢宛

本書ハ有名ある義太夫之内一段づゝ集輯せし者にして拾段若くハ拾二段宛を一編として出版せし者製本の寸珍形おれバ極めて携帯に便あり

繪入

倭文範合本

(段數四十段)郵税共二十錢

續倭文範合本

(段數卅二段)同 十六錢

曲亭馬琴著

南總里見犬傳

菊判大形帙入絹糸和綴美本

全八冊 定價金二圓

空前絶後の大手筆として小説部類ニ特色を有する者の八犬傳たる事ハ三尺の童子も知る處あり近年小説流行又隨つて往昔の傑作を翻刻して發售する者無數全種の書籍甲乙ニ分所にて翻刻するに至りてハ相互競賣の弊品質を粗にして價格を低廉あらしむる事を是れ務むゆへに品質の粗ハ層一層して讀者をして厭惡を來さしめたり弊堂常は是を憾み昔日の美を恢復せんとして本篇を發刊するに至る校正を嚴よし印刷を鮮明にし製本を堅牢よし務めて價格を下廉ます請ふ大方の諸君上優美にして高尚ある本篇を購ふて以て座右の好友とあすに至れば幸甚

義太夫丸本

名作三十六佳撰

一冊 ● 郵稅共拾貳錢

本書ハ我國の文範と稱すべき義太夫丸本の内最も名高き諸名家名著三十六種を撰び漸次出版致左記の通りニ座座ハ間續々ハ愛覽之程奉願上ハ

- 第一 繪本太閤記
- 第二 生寫朝顔日記
- 第三 伽羅先代萩
- 第四 假名手本忠臣藏
- 第五 本朝廿四孝
- 第六 菅原傳授手習鑑
- 第七 妹脊山婦女庭訓
- 第八 平がな盛衰記

第十九 第一 第十 第十一 第十二 第十三 第十四 第十五 第十六 第十七 第十八 第十九 第二十 第二十一 第二十二 第二十三 第二十四 第二十五 第二十六
 ○奧州安達原
 ○一の谷嫩軍記
 ○壇浦兜軍記
 ○蝶花形名歌島臺
 ○彦山權現誓助劔
 ○伊賀越道中双六
 ○三日太平記
 ○北條時賴記
 ○太平記忠臣講釋
 ○花上野譽石碑
 ○神靈矢口渡
 ○小野道風青柳硯
 ○國姓爺合戰
 ○箱根靈驗鬻仇討
 ○太平記菊水の卷
 ○義經腰越狀
 ○玉藻前儀袂
 ○鎌倉三代記

第廿七 ○義經千本櫻
 第廿八 ○御所櫻堀川夜討
 第廿九 ○傾城阿波鳴門
 第三十 ○關取千兩幟
 第卅一 ○花の雲佐倉曙
 第卅二 ○三十三間堂
 第卅三 ○新版歌祭文
 第卅四 ○蘆屋道滿大内鑑
 第卅五 ○加賀見山舊錦繪

桃水痴史著
 探偵小説

雪達摩

大形 ● 實價廿五錢 ● 郵税六錢

前警視總監勳二等子爵田中光顯君 前編題字
 警視總監從四位勳三等園田安賢君
 法制局長從四位勳五等文學博士末松謙澄君 後編題字
 警保局長正五位勳六等高崎親章君
 丸亨素人譯
 探偵小説

大疑獄

前編四十五錢 ● 郵税八錢
 後編四十五錢 ● 郵税八錢
 本書ハ探偵小説の大王あり至微至巧ある偵察の妙味書外に溢る未だ本書を讀ずして探偵小説を知ると云と勿れ

涙香小史譯
 探偵小説

眞暗

大開 ● 實價廿五錢 ● 郵税六錢

眞ツ暗ハトンチルノ如キ小説ナリ讀者ハ讀終ルマデ其實ヲ認メル能ハストンチルニ入タル如ク闇黒ニシテ讀者ノ方向ヲ迷ハシム尤モ奇ニシテ尤モ快ナル小説ナリ

日本六法全書

割引實價四十五錢 ● 紙數二千頁余
 郵税十四錢

民法俗解

割引實價十五錢 ● 郵税六錢

日本商法

會社法 破産法 手形法 商業登記簿
賣價七錢五厘 ● 郵稅二錢

刑事訴訟法合本

賣價六錢五厘 ● 郵稅二錢

民事訴訟法俗解

賣價十錢 ● 郵稅四錢

俳諧叢書

第八集迄
出版仕候

本書ハ俳諧ノ教科書ト爲すべき古人之傑作ヨシテ俳諧書之尤も有益ナル者を集メ漸次刊行する者あり

- 第一 芭蕉翁一代集 正價金卅五錢 郵稅金八錢
- 第二 風俗文撰 正價金卅二錢 郵稅金八錢
- 第三 うづら衣 正價金卅二錢 郵稅金八錢
- 第四 俳諧一葉集 正價金卅七錢 郵稅金八錢
- 第五 俳家奇人談 正價金卅六錢 郵稅金八錢
- 第六 本朝文鑑 正價金卅二錢 郵稅金八錢
- 第七 俳諧寂栞 正價金卅二錢 郵稅金八錢
- 第八 七部集大鏡 正價金卅二錢 郵稅金八錢

女寶

卷中目錄

女子の一代	女服縫綴案内	毛糸編物案内	四季贈答の部	凶人事件の部	日用雜書の部	日用雜書の部	手紙并二色紙短冊書方體十ヶ條	昔女禮曲式	生花水揚髪結傳内	茶の湯獨案	和女傳
三體件	四十二種	數百二十	數百二十	數百二十	數百二十	數百二十	數百二十	數百二十	數百二十	數百二十	數百二十

紙數五百一十金
市表依性入新形製亦

正價金四十錢
郵税八錢

本日
本堂
通櫻
目丁

